



平山 稔治 マナウス日本人学校

暑く 温かい アマゾンの地 マナウスより



アマゾン川風景

ブラジル連邦共和国マナウス市はアマゾン川の河口から約1600kmの位置にあるアマゾナス州の州都です。人口は200万人とも、300万人とも言われているブラジルの一大地方都市です。古くはゴム産業を基幹産業として発展し、フリーゾーンに指定されてからは、日本からも多くの企業が進出し、現地の発展に大きく貢献しています。降水量は年間2500mmに達しますが、日中の日差しさえ避ければ意外と過ごしやすいです。東京などのジメツとした夏よりもこちら



校庭に現れたイグアナ

の方がむしろ過ごしやすい感じを受ける方も多く、私も意外とこの暑さが気に入っています。

こんな暑い地にあるマナウス日本人学校は、現在、在籍が48名の小規模校です。日本人が通う全日コースと日系人が通う日本文化コースで構成されている所が大きな特徴です。ブラジルの現地校は午前、午後の2部制になっている学校が多く、文化コースの児童生徒たちは、午前、日本人学校で学習し、午後、現地校で学習しています。日本語の勉強は文化コースの児童生徒だけで行いますが、音楽、体育など、全日コースの児童生徒と合同に行い、交流したり、お互いにいい刺激を受け合ったりして、楽しく学習しています。合同授業は、日本語ですが、簡単なコミュニケーションはポルトガル語でとっていることもあり、お互いに言語や文化を理解し、身に付けていく一助となっています。

行事の場面では、現地での文化を体感しています。マナウス日本人学校には、現地ブラジル人との交流をしたり、日系社会と協力したりしながら行われている行事が多くあります。中でも、三大大行事と呼ばれている「運動会」、



アマゾン体験学習

「アマゾン体験学習」、「学習発表会」は盛大に行われます。「運動会」で踊るアマゾン伝統のポイブンバやプライア（アマゾン川の渚）で行われる「アマゾン体験学習」は、その代表的なものです。そして、「学習発表会」には、交流のある現地校ジョゼフィーナ校や日系人で運営されている日本語学校など様々な学校も出演し、文化交流を行っています。



運動会ポイダンス



学習発表会（低学年）



学習発表会（高学年）

マナウス市において、日本人は信頼、尊敬できるとブラジル人から慕われており、友好的に、温かく接してくれます。これは、多くの日系移民の方のこれまでの努力や現在の多方面で活躍が大きいです。これからも信頼され、尊敬される日本人、国際社会の中でたくましく生きていく児童生徒の育成を目指して邁進していきたいと思っています。